



ユーザの削除

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリのユーザ グループは削除できます。既存のユーザ レコードは、次の2つの方法のいずれかによって検索できます。

- [クエリーを使用したユーザの削除 \(P.19-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したユーザの削除 \(P.19-3\)](#)

クエリーを使用したユーザの削除

クエリー フィルタを作成してユーザ レコードを検索し、ユーザを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ユーザ レコードを検索するためのクエリーを作成してユーザを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [一括管理] > [ユーザ] > [ユーザの削除] > [クエリー] の順に選択します。

[ユーザの削除 (Delete Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索対象: ユーザ、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [マネージャ]
- [部署名]

2 番目の [検索対象: ユーザ、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]

■ クエリーを使用したユーザの削除

- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのユーザを検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、**[絞り込み]** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、**ステップ 2 ~ 3** を繰り返します。

ステップ 5 **[検索]** をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ユーザ ID (User ID)]
- [名 (First Name)]
- [ミドルネーム (Middle Name)]
- [姓 (Last Name)]
- [マネージャ (Manager)]
- [部署名 (Department Name)]
- [LDAP 同期状態 (LDAP Sync Status)]

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてユーザ レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックしてユーザ レコードを後で削除します。

ステップ 8 [送信] をクリックして、ユーザ レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 9 [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 63 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.64-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.19-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

カスタム ファイルを使用したユーザの削除

テキスト エディタを使用してユーザ ID のカスタム ファイルを作成し、ユーザを検索して削除できます。

始める前に

1. テキスト ファイルを作成し、削除するユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。

カスタム ファイルを使用してユーザを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理] > [ユーザ] > [ユーザの削除] > [カスタムファイル] の順に選択します。

[ユーザの削除 (カスタム) (Delete Users Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [検索対象: ユーザ、検索条件] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ユーザ ID]
- [名]
- [ミドルネーム]
- [姓]
- [部署名]

ステップ 3 [カスタムファイル] ドロップダウン リスト ボックスで、カスタム ファイルのファイル名を選択します。

ステップ 4 クエリーに必要な情報が含まれていることを確認し、[検索] をクリックします。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてユーザ レコードを即座に削除するか、[後で実行] をクリックしてユーザ レコードを後で削除します。

ステップ 7 [送信] をクリックして、ユーザ レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 8 [一括管理] メイン メニューの [ジョブスケジューラ] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 63 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、P.64-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.19-4 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [クエリーを使用したユーザの削除 \(P.19-1\)](#)
- [カスタム ファイルを使用したユーザの削除 \(P.19-3\)](#)